

瀬戸内建設
業協会等

豪雨被災の瀬戸内町で

一斉に清掃を実施

道路にたまった土砂の除去を行う
瀬戸内建設業協会会員「瀬戸内町
古仁屋



た。

2日の豪雨で被災した瀬戸内町で5日、瀬戸内建設業協会(伊東一宏会長)や町社会福祉協議会が募ったボランティアらが、古仁屋市街地や町内各集落で道路清掃や家屋内の片付け作業を行った。

協会からは会員約40人が参加。町商工会青年部14人も加わり、古仁屋市街地の県道、町道に堆積した土砂をショベルカーやスコップで除去し仮置き場に搬送した。作業途中、住民からの要望を受

け、当初予定していた定数以上の集合住宅敷地内にたまった土砂も取り除いた。作業を願った主婦は「土が固くなっている自分たちではどうしようもなかった。本当に助かりました」と感謝した。協会側ではタンクローリー

を含む約150人のボランティアが集まり、被害屋内の清掃や片付け作業の大きい蘇刈や嘉鉄、俄に精を出した。町役場職

賃貸型集合住宅用

太陽光発電システム 説明会を開催

ミタデン

(株)ミタデン(三田治雄社長)は10月29日、鹿児島市の県民交流センターで賃貸型集合住宅用太陽光発電システム説明会を開催した。



賃貸集合住宅用太陽光発電システム
のメリットについて説明する百田氏
＝鹿児島市の県民交流センターで

これは、築後30年近く経過する集合賃貸住宅のリフォームが

員や大島支庁瀬戸内事務所職員も加計呂麻を中心

ることから、それらの賃貸住宅を運営するオーナーらを対象に行われた。

今回の説明会には、(株)山善鹿児島支店の百田隆憲住設建材担当主任を講師に招いて、現在の太陽光発電システムの市場背景をはじめ、液晶型モジュールとCISモジュールを採用した場合の賃貸型集合住宅用太陽光発電システムの特性と、メリットや費用と利回りなどのほか、同社が独自に設ける日照補償制度の概要などについても説明。

質疑では、「施工にはどのくらいの期間を要するのか」「保証はどの程度まで適応されるのか」などの意見が出され、安定した入居率の確保と売電ビジネスの両立ができる賃貸住宅用太陽光発電システムに、参加したオーナーたちの関心の高さがうかがえた。

説明会を終えて、同社の堂脇雄一企画制作広報課長は「安定した賃貸経営と売電ビジネスを両立できるこのシステムの有効性を、より多くの賃貸経営オーナーへ提案していきたい」と語っていた。

災害時相互応援協定を締結

大震災教訓に遠隔地間で

鹿児島市と大垣市

備え遠隔地間で具体的な項目を定め結んだ。

両市は、江戸時代の木曾川(木曾川、長良川、揖斐川)の宝暦治水工事を縁に友好関係にあり昭和63年からはフレンドリーシティとして交流を深めている。



協定書を手にする森市長(右)と小川市長＝鹿児島市の鹿児島市役所で

小川敏大垣市長は「近隣市町村とは、協定を結んでいますが東日本大震災を目の当たりし1日も早い復興を考えると遠隔地間での協定の必要性を痛感。こちらから話をかけました」と話した。

森博幸鹿児島市長は「桜島の爆発は昨年を上回る勢いで活発な活動が続く、防災対策を市政の重要な柱としている。新たな仕組みができて心強く感じている」と挨拶。

国分準人ガス、ガス展

快適ガスライフを提案

国分準人ガス(株)(塚田靖人社長、霧島市)は、6日、同市のイオン準人国分で2011ガス展を開催した。

開き、ガスのある暮らしの素晴らしさをアピールするとともに新しいライフスタイルの提案を行った。

長は「昭和57年にスタートして、節目の30回を迎えることができ感謝します。けがのないよう競技を楽しんで親睦を深めてください」と挨拶。

今年で13回目を迎えたガス展。地球環境にやさしいガスの理解と利便性、調理性、安全性などをテーマに、進化した最新ガスコンロでは地震に対応した感電停止機能付や高効率ガス給湯器など安全かつ地球環境に優しい機器に興味深く見入っていた。

松崎直樹同社営業本部課次長は「東日本大震災後、ガスへの関心も高まっている。毎年恒例のイベントだが、少しでもガスの良さがPRできれば幸い」と語った。

10月30日、鹿児島市の山形屋福祉センター郡山グラウンドであった「写真」。



競技に先立ち、大野社

第30回大運動会

節目の大会楽しむ

南薩安全衛生協議会
南薩冷熱工業

南薩安全衛生協議会(新納忠重会長・株)シンキダネツ会長)と南薩冷熱工業(株)(大野光昭社長)の第30回大運動会が

とつ性(柔軟性があり折り曲げても折れない性質)に優れたフレキシブル構造の管路を構築することができるとい

幅に短縮できるとしている。

同日の公開試験では、水密、接合、外庄のテストを実施。官公庁の担当者らは、構造や性能などについて熱心に質問するなど高い関心を寄せた。

同協会の柏木支部長は「従来の工法と比べ、発注、設計、施工などすべての立場の方々にメリットを感じてもらえる製品。さらなる普及を目指していきたい」と語る。

築し、レベル2地震動(震度6～8程度)での要求性能も十分に満たすことができるという。

施工の際にも、レベルブロックによる引き込み作業のみで設置できるため、従来の可とう継ぎ手方式で必要な縦連結式(PC緊張工、グラウト工など)も不要。施工時間を大

性

耐S-J-BOX

南九州市で公開試験

高い水密性に関心

下水管渠の耐震対策として、水密性などを高めた「耐震性スーパージョイントボックス」(S-J-BOX)の性能公開試験が10月27日、南九州市のインフラテック(株)南薩工場であった。写真。官公庁や設計コンサルタントの工事担当者ら約60人が視察。継ぎ手にゴムリングを用い、水密性や施工性に優れた同製品に高い関心を示した。



年4月施行の改正下水道法令で下水管渠の耐震対策が義務付けられたことを受け、開発されたNETIS登録製品。すべての継ぎ手にゴムリングを用いることにより、水密性や可